

久留米国際セミナー2012

International Seminar on Well-being and Health in Kurume

開催趣旨

本セミナーでは、「ウェルビーイングと健康」に関する最近の研究の進展と実践活動について心理学をはじめとする健康科学領域における報告と議論を行うことを目的として開催いたします。

米国から2名の臨床心理学者、国内からは社会心理学者、健康心理学者、脳科学者、健康科学者など10数名の発表者をお招きし、合計11演題3つのセッションを企画しました。午前の部は、英語セッションとしています。午後からは日本語でのセッションです。我が国の心理学が、国際性と専門性を求められる現況にあって、若手の研究者や院生にとっても貴重な体験となることを期待しています。

また、「公共交通機関利用による世界一周最高齢者（106歳）」ギネス認定の記録を持つ昇地三郎先生に特別講演「100歳時代を生き抜く力」をお願いしております。

ヘルスリサーチを志す若手の研究者には、広く発表の場を会場内に提供することで、他のセミナーやフォーラムでは得られない英語ポスター掲示による研究交流の場を設定しました。

本セミナーは、株式会社TTC、クノール食品株式会社や花王（株）ヒューマンヘルスケア研究センター、アイ・アイ・ティーセンターの協賛を頂いての開催であります。奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

日 時 平成24年11月24日（土）午前10時00分～午後5時10分

（9時から受付、ポスター見学可）

情報交換会 午後5時30分～

会 場 久留米大学御井学生会館3階

〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635 TEL: 0942-43-4411

主 催 久留米大学大学院心理学研究科津田研究室（健康心理学）

共 催 一般社団法人日本健康心理学会（予定）、久留米大学比較文化研究所心理教育部会

後 援 久留米大学文学部同窓会

協 賛 アイ・アイ・ティーセンター、株式会社TTC、クノール食品株式会社、
花王（株）ヒューマンヘルスケア研究センター

参加申し込み方法（裏面に掲載）

参加申し込み方法

必要事項（氏名、連絡先、電話、ファックス、e-mail アドレスなど）を明記の上、下記申込先にファックスまたは e-mail でお申し込みください。当日、資料代として 500 円徴収させていただきます。

申し込み先

久留米大学大学院心理学研究科津田研究室（担当：松田、鬼塚）

〒839-8502 久留米市御井町 1635 Fax: 0942-43-4797

E-mail: atsuda@std.mii.kurume-u.ac.jp

ホームページ

<http://internationalseminarinkurume.jimdo.com/>

会場案内地図



御井キャンパス

1 100号館	11 御井学館	21 800号館
2 200号館	12 御井学生会館	22 千歳会館
3 300号館	13 弓道場	23 学生寮
4 400号館	14 第2体育館	
5 500号館	15 第3学生部室棟	
6 600号館	16 みいアリーナ	
7 700号館	17 グラウンド	
8 御井図書館	18 900号館	
9 第1学生部室棟	19 テニスコート	
10 第2学生部室棟	20 1000号館	

プログラム

10:00～12:00

第1セッション(英語) 「Evidence-based Clinical Psychology for Research and Practice」

Convener & Chair

Akira Tsuda (Department of Psychology, Kurume University)

Presenter Yoshiyuki Tanaka (Department of Psychology, Kyoto Tachibana University)
「A Contribution of Perceived Well-being toward the Outcomes of TTM
based Stress-Management Practice」

Michiyo Ando (St. Mary's College, Faculty of Nursing)
「Adaptation of the Trastheoretical Model to Bereavement Life Review
Therapy for bereaved families」

Noboru Iwata (Department of Clinical Psychology, Hiroshima International
University)
「Culture and Positive Emotion -a hurdle toward positive psychology in
Japan」

Jorge Won (Palo Alto University, USA)
「Center for Addiction Recovery and Empowerment (CARE): A culturally
respectful community response to problem gambling」(tentative title)

12:00～13:00 (昼休み)

13:00～13:50

特別講演 「100歳時代を生き抜く力」

講演者 昇地三郎 (健康長寿マイスター、ギネス世界記録認定、しいのみ学園創設者)

13:50～14:00 (休憩)

14:00～15:30

第2セッション 「東日本大震災被災者への支援：これまでとこれから」

セッション座長

安藤満代 (聖マリア学院大学)

発表者 堀毛裕子 (東北学院大学教養学部・宮城県臨床心理士会・前会長)

「現地の視点から心理支援を考える」

金原さと子 (Asian American for Community Involvement)

「Psycho/Social Interventions as the First Responders

& Tomodachi Softbank Leadership Program Summer 2012」

堀毛一也 (東洋大学社会学部)

「Subjective well-being の多面性と震災前後の変化」

15:30～15:40（休憩）

15:40～17:10

第3セッション 「ウェルビーイングと健康のためのトータルケア」

セッション座長

岡村尚昌（久留米大学高次脳疾患研究所）

発表者 矢田幸博（筑波大学大学院グローバル教育院、久留米大学大学院客員教授）

「完全天然香料の生理効果と美容健康分野への利用」

御堂直樹（クノール食品株式会社 開発工業化センター）

「スープ摂取により得られる感覚と健康の関係」

山本哲郎（(株)TTC 代表取締役社長、久留米大学大学院客員教授）

「ストレス・睡眠関連質問紙を用いた機能性食品の評価」

ポスタータイトル（午前9時から午後5時まで掲示）

Ayumi Fusejima¹, Akira Tsuda², Yoshiyuki Tanaka⁴

「Social Supports and Emotional Expression Skills related to Subjective Well-being」

Kaori Ono¹, Akira Tsuda², Ayumi Fusejima¹, Yoshiyuki Tanaka⁴, Hisayoshi Okamura³

「The psychosocial factor to influencing the physical unidentified complaints on the workers」

Haruko Kira¹, Akira Tuda², Satoko Kimpara⁶, Yoshiyuki Tanaka⁴, Satoshi Horiuchi⁷, Ke Deng¹, Ayako Sasaki¹

「Development of Japanese-version Systematic Treatment Selection(STS) Self-Report Form」

Ayako Sasaki¹, Mariko Yamamoto², Akira Tsuda²

「Effectiveness of a strength diary on mental health」

Akira Matsubara¹, Akira Tsuda², Jumpei Yajima⁵, Hisayoshi Okamura³, Kengo Mihara¹

「Influence of daytime dysfunction and sleep disturbance on mental health」

Kengo Mihara¹, Akira Tsuda², Jumpei Yajima⁵, Hisayoshi Okamura³

「The effects of long-term consumption of cup soup on psychophysiological stress responsiveness」

Terumi Eda¹, Akira Tsuda², Junpei Yajima⁵, Hisayoshi Okamura³

「Comparative study of health behavior survey of university students in Japan, Korea and Nepal」

Kiyou Sakamoto¹, Akira Tuda², Michiyo Ando⁸

「Empathy in Nursing students from analyses of original papers published between 2002 and 2012」

Tong Liu¹, Akira Tsuda², Jumpei Yajima⁵

「Health behavior, health knowledge and health belief in Japanese and Chinese students」

Terumi Matsuda¹, Akira Tsuda², Ke Deng¹

「The effect of stress management behavior on mental health of Chinese foreign students in Japan」

1. Graduate School of Psychology , Kurume University
2. Department of Psychology, Kurume University
3. Cognitive and Molecular Institute of Brain Diseases, Kurume University
4. Department of Psychology, Kyoto Tachibana University
5. Department of Human Studies, Beppu University
6. Asian American for Community Involvement
7. Health Sciences University of Hokkaido
8. St. Mary's College, Faculty of Nursing